

武蔵野市地域自立支援協議会・地域移行部会\_\_令和5年度活動報告

地域移行部会

部会長 山本 紀之

令和5年度の地域移行部会は、令和5年8月から令和6年2月までの間に計6回の部会を開催しました。開催方法は、対面とオンラインのハイブリット形式で行いました。

第1回目（令和5年8月3日）の部会では、部会長も含め部会員の入れ替わりがあったため、昨年度までの経過報告を行い、今年度の取り組みについて意見交換を行いました。

第2回（令和5年9月6日）から3回目（令和5年10月4日）の部会では、今年度の具体的な取組みについて協議しました。その中で部会を3つのチームに分けて活動する案等も出ましたが、最終的には精神科病院へ長期入院している方に対して、地域移行（退院）への動機付け支援に力を入れていくことになりました。

武蔵野市版の動機付け支援を実施するにあたり、まずは近隣の自治体で実施している動機付け支援を勉強することになり、中野区の『NPO 法人リトルポケット（以下、リトルポケット）』と杉並区の『杉並区障害者地域相談支援センターすまいる荻窪（以下、すまいる荻窪）』へ見学の依頼をすることにしました。打合せの結果、『リトルポケット』には、地域移行支援を実施している『中野区精神障害者地域生活支援拠点事業 ippuku』の職員を講師にお招きすることになりました。

第4回目（令和5年11月13日）の部会は、『リトルポケット』の職員の方から、地域移行や動機付け支援についての勉強会という形式で、講義と質疑応答の機会を設けていただきました。動機付け支援には長期的な関りが必要なことや、ピアサポーターの存在が重要であること、体験のための宿泊施設が必要であること等を学ぶことができました。また、中野区は入院病床のある精神科病院が無いなど、武蔵野市との共通点もあり、大変有意義な勉強会となりました。

第5回目（令和5年12月21日）の部会は、12月6日に『すまいる荻窪』へ動機付け支援を行っている場面を見学させていただいた報告を行いました。

『すまいる荻窪』と『井之頭病院の2つの病棟』をオンラインで繋ぎ、『すまいる荻窪』のピアサポーター5名程が中心となり、『井之頭病院』に入院している患者の方と交流する場面を見学させていただきました。交流するにあたり、事前に『すまいる荻窪』の職員とピアサポーターで打合せを行い、本日のテーマ等を確認していました。その後、『井之頭病院』の看護師と打合せを行ったうえで、患者の方との交流会を1時間程度実施していました。交流会の後も、看護師との振返りを行い、最後は職員とピアサポーターで振返りを行い終了となりました。月に1度交流会を行うにあたり、非

常に丁寧な打合せを行っていたこと等を報告しました。

見学会報告の後、前回の勉強会と今回の見学会を踏まえて、武蔵野市版の動機付け支援について協議しました。活発な意見交換がなされた結果、今回勉強させていただいた2事業所と、合同で動機付け支援を行う方向で話しがまとまりました。これは、動機付け支援を別々の事業所が行うより、合同で行った方が効率的であり、病院側にとっても手間を省けるメリットがあることや、ピアサポーター同士の交流にも繋がると思った結果でした。

第6回目（令和6年2月9日）の部会は、前回の部会で決まった、『リトルポケット』と『すまいる荻窪』との動機付け支援の合同開催の進捗報告を行いました。

両事業所とも合同開催について、好意的に受けとめていただきました。動機付け支援にはピアサポーターの存在が重要であることから、『リトルポケット』から中野区のピアサポーター総会にお招きいただき、ピア活動を担当している職員の方を紹介いただきました。『すまいる荻窪』は、法人内や行政と調整が必要なため、どのように実施できるか検討するための時間が欲しいとの返答をいただきました。その後、改めて『すまいる荻窪』より連絡があり、委託元の杉並区の基幹相談支援センターが、武蔵野市と行政間で話をしたいとの申し出があったため、一度連絡を取って欲しいとの依頼がありました。そのため、武蔵野市の基幹相談支援センター・三浦センター長へ連絡をお願いしました。結論としては、先方からも他の自治体と合同開催することで対象や活動の場を広げていければと前向きな返答であったとの報告がありました。

上記の内容を踏まえて、今後の具体的な進め方を協議した結果、来年度は以下の3本柱で部会を進めていくことになりました。

#### ① ピアサポーターの育成

『リトルポケット』と『ミュー』でピア交流会などを検討し、ピアサポーターの合同育成を試み、その活動状況を部会へ報告する。

#### ② 動機付け支援の合同開催

『すまいる荻窪』が実施している『井之頭病院』との交流会（動機付け支援）へ、先方の都合に合う範囲で参加させていただく。

#### ③ 事例検討会

ライフサポート MEW が関わっている、地域移行に繋がっていない入院患者の方の事例検討を行い、他に何かできることがないかや、必要な社会資源などについて検討を行う。

事例検討については、個人情報の取扱いについてのルールやガイドラインを整備する必要があるため、併せて来年度に整備していくことになりました。

最後に、基幹相談支援センター・三浦センター長より、来年度から地域移行部会を「にも包括」協議の場として位置付けることに伴う対応についての説明がありました。